

昭和大学附属烏山病院だより

あおぞら

〔発行責任者〕病院長 岩波 明
〔編集責任者〕広報委員長 常岡 俊昭
〔住所〕〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11
〔電話〕03-3300-5231(代表)

第187号

[2023年3月31日発]

看護次長退任にあたって

看護部次長 池田 勝之

このたび、4月1日付の人事で、当院の看護部次長も交代となり、この機にわたくし池田は、昭和大学を卒業（退職で笑）させて頂くこととなりました。これまで、次長として5年間、それ以前に師長として。また、北部病院勤務を挟んで、スタッフとして、この烏山病院に長く勤務させて頂き、多くの方々にお世話になりました。この場を借りて、心より感謝の気持ちをお伝えできればと思います。本当にありがとうございました。



なにせ30年近い勤務ですので、主だったエピソードや思い出を語るだけでも、おそらく、「あおぞら」何号分ものボリュームになってしまうでしょう(笑)。たまたま、先輩の家に遊びに行く途中で、烏山病院の前を通りかかったとき、「看護助手急募」「男子学生求む」という貼り紙を見つけ、ただ、「精神科の看護助手って、どんな仕事なんですか？」って、聞くだけのつもりだったのに、「とにかく、明日から来てくれ」と激しく頼まれ、気づけば、そのまま30年が経ってしまいました。

当時はまだ、木々に囲まれた広いグラウンドに、窓に鉄格子のはまった古い病棟や、田舎の木造校舎のような外来棟が残っていた時代です。患者さんも、5年、10年と長く入院されている方が多く、また、社会的な偏見もそこに残っていて、精神科の患者さんたちにとって恵まれた時代ではなかったように思いますが、病院の中では、グラウンドでソフトボールをしたり、桜のお花見をしながらカラオケを唄ったり、雪が積もれば、雪だるまやカマクラを作ったりして、ゆっくり患者さんたちと過ごせた暖かな時間を、今でも、はっきり覚えています。昼の病室では、患者さんが隠し持っていたスケベな本を見せてもらいつつ、怖いお姉さんナースに見つからないよう、患者さんが見張ってくれているという(笑)、ただのアルバイト助手の自分には、のどか過ぎる毎日でもありました。

それから、長い年月が過ぎ、病棟の建物が新しくなっただけでなく、精神疾患の治療精度は格段に向上し、精神科病院に向けられる社会の眼差しも大きく変わりました。しかし、精神ケアの根幹が、人と人とのコミュニケーションや信頼関係にあることだけは、今日においても、何ら変わってはいません。烏山病院が、この先、10年後、20年後にも、多くの人たちから必要とされる場であるために、大学病院としての医療の先進性ととも、暖かなケアを提供できる病院であってほしいと強く願っています。

わたくし自身、小学校の教師になるつもりだったのが、いつのまにか看護師になってしまったのも、スタッフとして、師長として、次長として、なんとか仕事を全うできたのも、患者さんや、ご家族、同僚である看護師のみなさんや、ドクターやコメディカルの方々など、多くの方たちとの出会いがあったからに他なりません。感謝と共に、今後のみなさまのご健勝、ご活躍を、心よりお祈りしております。長い間、ありがとうございました。*写真は看護部の皆さんで左下から2番目が池田次長です



ご挨拶

I. 定年退職にあたって

事務課管理係 富田 雅子

烏山病院で受付・経理・庶務などの業務に携わり、長年勤務させていただきましたが、3月に定年退職を迎えることとなりました。

在職中いろいろなことを経験し学ばせてもらいました。一番印象深かったことは就職して3か月経過後、閉鎖病棟での2週間の実習でした。実習といっても入院生活の見学や入院患者さんに接することが目的だったので、勤務時間中は、ずっと病棟におりました。不穏状態の方やなぜ入院しているのかわからない方など様々で、どのように接していいのか戸惑うことばかりでしたが、何人かの患者さんから声をかけていただき、会話ができ、とても貴重な時間を過ごすことができました。

烏山病院で会うことができた皆様から、ご指導いただき支えていただきましたことを心より感謝しております。ありがとうございました。

II. 烏山病院での2年間

精神医学講座 准教授 音羽 健司

この度、2023年4月より名古屋市立大学医学部附属東部医療センターに教授として異動することとなり、挨拶文を書く機会を頂きました。私が烏山病院に着任して早2年近くが経とうとしております。新宿から特急で10分少しの立地ですから、都心というイメージで降り立った千歳烏山駅は…世田谷の緑豊かな郊外でした。病院の4階からはきれいな富士山が眺められたのは役得だったかもしれません。病棟では多くの患者さんを若い専攻医の先生方と一緒に診させて頂きました。外来では一般的な相談から診断・治療まで幅広い方のお話を伺いました。特に大人の発達障害にうつ病や不安症を併存した患者さんの治療を担当できたことは自分自身の診療の幅につながりました。今後は烏山病院で得た経験を糧に新天地でも診療や研究・教育にあたっていければと考えております。2年間どうもありがとうございました。

ひな祭りの行事食について

栄養科

3月に入り、日中は暖かい春の日差しを感じる頃になりました。

3月の行事といえば、ひな祭り。ちらし寿司に蛤のお吸い物、甘酒、ひなあられなど、ひな祭りならではの食べ物には、どれも縁起の良い物ばかりです。例えば、ちらしずしの具材には、海老は腰がまがるまで丈夫に長生きする、豆（さやえんどうなど）は豆で健康に働く、蓮根は開いた穴のように、先が見通せる、錦糸卵は財宝がたまるようになどの意味が込められています。当院も3月3日の昼食時にちらし寿司、菜の花のサラダ、いちごババロアの行事食を提供いたしました。デイサービスの患者さんからはたくさん的高評価及びまた実施して欲しい等のご意見を頂きありがとうございました。*写真は今年度のものです



院内での対策について

事務課管理係 野寺 晶子

I. 院内でのマスク着用について

新型コロナウイルス感染症の5類感染症への段階的移行に伴い、厚生労働省から、令和5年3月13日以降のマスク着用の有無について、個人の選択を尊重し、個人の判断に委ねられることが発表されています。

一方で当院には高齢者の方や重症化リスクの高い患者さんなど、毎日多く入院・来院しております。多くの患者さんが入院・来院できるよう、また元気な姿で皆様に病院でお会いできるように、マスクの着用にご協力の程お願いいたします！



☞厚生労働省 HP「マスク着用の考え方について」が掲載されています👁️
ぜひご覧ください！

II. 検温が無人化対応になりました！

当院では新型コロナウイルス感染症が広がり始めた頃から、入り口で対面式にて検温を行って参りましたが、コロナが落ち着き、また、5類感染症への段階的移行に伴い、3月から無人化対応に変更させていただきました。

入り口にて、右図のような掲示をさせていただいております。患者さん自身で体調の確認、体温の確認を行っていただき、少しでもおかしいな・ちょっと熱があるかもと不安の方、また検温したら37.0度以上あった場合は以下までご連絡ください。

検温にご協力下さい

建物内に入りましたら、接触検温器の前で立ち止まり検温をしてください。

検温が終わると画面の左下に体温が表示されます。

測定体温が37.0度以上の方は
03-3300-5231に電話してください。
電話で「入り口で検温したら37.0度以上でした」とお伝えください。

新型コロナウイルス感染拡大防止のためよろしく
お願いいたします

高山病院事務課管理係
03-3300-5231

事務課管理係あて 03-3300-5231 までお電話ください。

ご協力の程よろしくお願いいたします！！



デイケア活動 プロジェクトK

Kさん

今回は、プロジェクトKの活動内容を紹介いたします。

プロジェクトKではデイケアメンバーの皆様が参加して楽しめるイベントを、3ヶ月に1回程度のペースで企画・開催しております。

直近では、昨年11/16～12/13の3週間「K(鳥山)-1オリエンテーリングイベント」を開催いたしました。リハビリテーションセンターに関する問題を、実際に施設を巡ることで解いていただくといったものでした。

現在は3/8から開催する「木に言葉の花を咲かせよう」の企画を進行中です。内容は、壁に木と地面を設置し、参加者には紙の花びらにポジティブなことやネガティブなことを書いて貼っていただくというものです。ポジティブなことは木に咲かせて、ネガティブなことは土に還します。春に向けて華やかで楽しいイベントになるように鋭意進行中です。

たくさんの方に参加していただいて、花が満開になるように祈っています。

「K(鳥山)-1オリエンテーリングイベント」第1週の回答用紙↑

K(鳥山)-1オリエンテーリング 解答用紙①

名数

問題	解答
1. 和室の名前は？	
2. 中2階一食堂までの階段の数は？	
3. ペーパータオルが設置されているのは何ヶ所？ (1ヶ所)	
4. 掲示されている書道クラブの作品数は何枚？	
5. デイケア内にて観覧に入っている観覧者は何枚？	
6. デイケアのゴミ箱の数は？(受付除く)	
7. 中2階・中2階中央の扉にはいくつある？	
8. 大人数のある場所は？	
9. 消火栓がどこにあるか全て答えよ	
10. このオリエンテーリングイベントの思い出の中で 良かったものは？	

※記入していただいた名数は今回のイベントのために使われず
答えを載せた19頁は必ず事前に発行部の検査員が1回確認して正しい
12頁と11頁にサイズの変更の無い上投書には書き込みができません
ご参加、ありがとうございます！！

プロジェクトK

総合サポートセンター

～受診・入院のご相談～

受付：月曜日～金曜日・8時30分～17時

土曜日 8時30分～13時

電話：月曜日～金曜日03-3300-5329

土曜日 03-3300-5231

◎初診受付：月曜日～土曜日・8時30分～11時

◎休診日：日曜日・本学創立記念日・年末年始

《2月》 入院(前月) 外来(前月)

◆延患者数 7,659(8,439) 5,480(5,667)

◇一日平均患者数 273.5(272.2) 249.1(246.4)

◆診療実日数 28(31) 22(23)

広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。連絡先は k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp となります。

こちら当院のホームページのQRコードとなります。ぜひご覧ください。

あおぞらについてのアンケートを作成しましたのでご協力の程よろしくお願いいたします。



【編集後記】

あっという間に今年度も終わります。寂しい別れもあれば、刺激的な出会いもある季節になります。去年と比べて変わった点や成長した点を振り返ってみるのも良いかもしれません。今年の目標をまだ決めていない人は、今年度の目標として決めてみるのも良いのかなと思っています。来年度は広報誌「あおぞら」や僕達医療スタッフの気持ちもより多くの人に届けば良いな、と思っています。

よろしくお祈りします

(広報委員 常岡)

